

ISSN 1880-8867



**BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY**

弘前学院大学

看護紀要

第4巻

Volume 4

2009

目 次

〈総 説〉

わが国の臓器提供にかかわる看護師に関する研究の特徴と課題

—海外文献との比較— 新 田 純 子 1

〈研究報告〉

成人看護臨床実習における看護技術の実施・習得状況および今後の課題

—慢性期・周手術期の特徴の明確化と学内演習の充実にむけて— 原 田 真里子 11

新 田 純 子

長 内 志津子

漆 坂 真 弓

中 村 令 子

木 村 紀 美

村 田 千 代

成人（基礎）看護領域における看護総合臨床実習の学びと課題

—レポートの分析を通して— 漆 坂 真 弓 25

木 村 紀 美

村 田 千 代

中 村 令 子

原 田 真里子

新 田 純 子

長 内 志津子

〈そ の 他〉

「健康日本21」に対する国、地方自治体の取り組みとその評価について 三 上 聖 治 35

佐 藤 香里奈

柴 田 有佳李

神 美智子

奈 良 夏 子

弘前学院大学看護紀要投稿規程

1. 投稿資格：投稿は、連名者も含めて、1) 本学の専任教員 2) 非常勤講師 3) 本学の学生（研修生・研究生を含む） 4) 紀要委員会が認めた者とする。
2. 原稿の種類：原稿は、総説・原著・研究報告・その他のいずれかであり、原稿にそのいずれかを明記する。いずれも、未発表のものに限る。
3. 倫理：人および動物が対象である研究は、大学倫理委員会の決定を遵守して、倫理的に配慮された研究でなければならない。その旨を本文中に明記する。
4. 投稿手続き：1) 投稿原稿は、審査のため3部（うち2部はコピーでもよい）を提出する。2) 受理後の最終原稿は、本文をMS-Wordあるいはテキストファイル形式で作成し、印刷媒体3部（うち2部はコピーでもよい）および電子媒体に保存したもの、あるいはE-mail^{注1)}で提出する。
5. 原稿の受付および審査：1) 投稿原稿の受付期間は前もって紀要委員会より通知する。また郵送による場合は、期限当日の消印有効とする。2) 投稿原稿の採否は紀要委員会および紀要委員会が依頼した査読者（学外を含む）による査読を経て、紀要委員会が決定する。3) 紀要委員会の審査により、原稿の修正、削除、加筆および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。4) 原稿の掲載順、印刷の様式は紀要委員会が決定する。
6. 執筆要領：原稿は、A4横書きとする。
 - 1) 論文には表紙をつけ、論文表題、英文題名（すべて大文字）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（英文名とも）、図、表および写真等の数、希望する原稿の種類、投稿者の連絡先（住所、電話、FAX、E-mailアドレス）を記入する。
 - 2) 論文には400字程度の和文要旨と250語以内の英文要旨を添え、日本語および英語のキーワードを4語ずつ加える。
 - 3) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語訳がない述語等は原語で書く。
 - 4) 略語は、初出時に正式用語またはスペルを記入する。
 - 5) 度量衡の単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 6) 英文原稿および英文要旨はネイティブスピーカーの校閲を受け、その証明を添付する。
 - 7) 図、表、写真は図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し、本文の原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。なお、カラー印刷は受け付けない。
 - 8) 引用文献
 - ①引用文献は本文中に著者名、（発行年次）、を表示する。
 - ②引用文献は著者名のアルファベット順に列記して文献には片括弧つきの番号をつける。
 - (1) 雑誌掲載論文
著者名（発行年次）、論文の表題、誌名、巻（号）、最初のページ-最後のページ
 - (2) 単行書
著者名（発行年次）、書名（版数）、発行地
著者名（発行年次）、論文の表題、編者名、書名（版数）、ページ数、出版社名
 - (3) 訳本
原著者名（原著の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次） 翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地
7. 著者校正は初校のみとし、校正時の加筆は認めない。2校以降は紀要委員会が行う。
8. 別刷は30部まで無料とし、30部を越える部数については自己負担とする。

注1) 投稿先のE-mailアドレス：kango-kiyou@hirogaku-u.ac.jp

編 集 後 記

弘前学院大学看護学部も完成年度を迎え、この4月から新カリキュラムでの授業が始まりました。教員も大幅に入れ替わって平均年齢がかなり若返ったのではないかと思います。紀要の編集と学部の変化の時期が重なり発行が大幅に遅れてしまいましたが初夏から夏に変わる時期に「看護紀要第4巻」をお届けすることになりました。

第4巻の中には今春巣立っていった卒業生の名前を見ることができます。今後、質の高い卒業研究は指導教官がさらに磨きをかけて論文として紀要に投稿していただけるのではないかと期待しております。また、新たに採用された若い先生たちも積極的に紀要に投稿していただけるよう、研究の発展を期待しております。学部の成長とともに「看護紀要」の益々の発展を祈ります。

「看護紀要第4巻」の編集が年度を越えて行われたため、前年度委員の村田千代先生にも多くの仕事をさせていただきました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

弘前学院大学看護学部紀要委員会

片桐 康雄

三上 聖治

原田真里子

岡田 実

弘前学院大学 看護紀要 第4巻

2009年5月31日 印刷

2009年5月31日 発行

編 集 者

弘前学院大学看護学部紀要委員会

発 行 所

弘前学院大学看護学部

〒036-8231 弘前市稔町20-7

印 刷 所

やまと印刷株式会社

〒036-8061 弘前市神田4丁目4-5

BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY
Volume 4, 2009

CONTENTS

REVIEW ARTICLE

CHARACTERISTICS AND PROBLEMS IN RESEARCH ON NURSES
INVOLVED IN ORGAN DONATION IN JAPAN

—COMPARISON OF JAPANESE AND INTERNATIONAL LITERATURE—

Junko NITTA 1

RESEARCH REPORT

THE CURRENT STATE OF AND FUTURE PROBLEMS
INVOLVING THE PRACTICE AND ACQUISITION OF NURSING
SKILLS IN ADULT NURSING CLINICAL TRAINING

—CLARIFICATION OF THE CHARACTERISTICS OF CHRONIC/
PERIOPERATIVE PHASE TRAINING AND MOVES TOWARD MORE
COMPLETE IN-CLASS EXERCISES—

Mariko HARATA 11
Junko NITTA
Shizuko OSANAI
Mayumi URUSHIZAKA
Reiko NAKAMURA
Kimi KIMURA
Chiyo MURATA

LEARNING AND PROBLEMS FROM COMPREHENSIVE
NURSING PRACTICE IN THE FIELD OF ADULT
(FUNDAMENTAL) NURSING

—BY ANALYSIS OF REPORTS—

Mayumi URUSHIZAKA 25
Kimi KIMURA
Chiyo MURATA
Reiko NAKAMURA
Mariko HARATA
Junko NITTA
Shizuko OSANAI

THE OTHERS

EVALUATION OF THE "HEALTH NIPPON 21" LIFESTYLE-
RELATED DISEASE CONTROL PROGRAM IMPLEMENTED BY
GOVERNMENTS AND MUNICIPALITIES

Seiji MIKAMI 35
Karina SATOH
Yukari SHIBATA
Michiko JIN
Natsuko NARA